

環境管理（Synergy iQ製品）

対象製品： Muse iQ、オトレンズシナジー iQ、Halo iQ

環境管理の設定

環境管理は製品クラスと形状によって異なります。上位クラスの製品では、より多くのオプションやサポートを提供します。環境管理のデフォルト値はユーザーの好みや補聴器装着経験に基づいて設定されます。

環境管理では、**快適機能**、**BGM強調**、**指向性（イマージョン指向性）**の機能をメモリーごとに設定することができます。

Inspire Xを起動し、適切な補聴器を接続・選択します。

（詳細は、*QuickTIPS: Muse iQ & オトレンズ・シナジー iQ または Halo iQ* の初回フィッティング手順をご参照下さい。）

左側ナビゲーションメニューの**環境管理**を選択します。

Inspireの環境管理機能では、音の分類と自動でゲインを適応させるアルゴリズムの設定ができます。

環境管理では「快適機能」「BGM強調」「指向性（イマージョン指向性を含む）」の設定が調整できます。

調整可能な機能は製品の器種やテクノロジークラスによって異なります。

快適機能

- ▶ **ボイス強調：**騒音下での音声を素早く分析し、騒音に対して効果的に抑制します。
- ▶ **静寂：**比較的静かな騒音（空調やマイクノイズなど）を抑制します。
- ▶ **風：**マイク入口の風による乱気流が原因の風切り音を抑制します。
- ▶ **機械騒音：**掃除機やミキサーなど大きな機械音を抑制します。

快適機能の2通りの設定方法：

1. 環境管理画面にて調整テーブルの**設定値**を選択します。設定値にカーソルを合わせると、その部分が青色に変化します（図1）。上下の矢印をクリックして、騒音の抑制量を増減します。
2. 快適機能の「**詳細**」をクリックして、快適機能の設定（図2）を開きます。騒音抑制を強くするには**大きい数値**を選択し、騒音抑制を弱くするには**小さい数値**を選択します。



環境管理	1	2	3	4
ボイス強調	標準	強調	無効	無効
静寂	2	3	...	...
風	3	3	...	...
機械騒音	3	3	...	...

（図1）環境管理：快適機能



環境管理 快適機能

右 両耳 左 1 2 3 4

ボイス強調: Off 1 2 最大: 10 dB

静寂: Off 1 2 最大: 10 dB

風: Off 1 2 最大: 22 dB

機械騒音: Off 1 2 最大: 15 dB

実行 閉じる

（図2）快適機能

BGM強調

補聴器が音楽環境を検出すると、ユーザーにとって最適な音楽聴取を体験してもらうための設定が自動的に適応されます。*標準、ストリーミング、Stream Boost、劇場メモリーではBGM強調機能が自動的に有効となります。その他の環境メモリーでも、有効に設定を変更することができます（音楽メモリーではBGM強調の設定はありません）。

注意：音楽鑑賞が趣味のユーザーには、専用の音楽メモリーを使用することをお勧めします。詳細は、*QuickTIPS: 音楽メモリー*をご参照下さい。

BGM強調機能を設定する2通りの方法：

1. 環境管理画面にて、調整テーブルからBGM強調の**設定値**を選択します。設定値にカーソルを合わせると、その部分が青色に変化します。**上下の矢印**をクリックして、音楽の強調量を**大きく**または**小さく**できます。
2. BGM強調の「**詳細**」を選択します（図3）。音楽の強調量をより強くするには**大きい数値**を選択し、音楽の強調量をより小さくするには、**小さい数値**を選択します。



環境管理 BGM強調

右 両耳 左 1 2 3 4

BGM強調: Off 1 2 強い 4

閉じる

（図3）BGM強調

指向性

最適な補聴器の指向性は、選択された環境メモリーに応じて決定されます。基本的にデフォルトのまま使用することをお勧めしますが、必要に応じて、きこえの専門家が指向性の変更と設定を行ってください。

指向性を設定する2通りの方法

1. 環境管理画面にて「**指向性**」を選択します。指向性の設定モードにカーソルを合わせると、その部分が青色に変わります。**上下の矢印**をクリックして、指向性のモードを変更します。
2. 指向性の「**詳細**」を選択し**指向性モード**、**イマージョン指向性**、**指向性プラス**、**スイッチング**を設定します（図4）。

» **アダプティブ（追従型の指向性）**：アダプティブ・マルチステアリングによりあらゆる方向のノイズ源を追従しつつ、スピーチIDによって会話音を保護します。

» **ダイナミック（無指向性⇔固定の指向性）**：無指向性と固定の指向性モードを環境によるSN比に応じて自動で切り替えます。

» **指向性（固定の指向性）**：常時ハイパーカーディオイドのポーラーパターンを使用し、装用者の後方からの入力音を抑え、前方からの入力音にフォーカスします。

» **無指向性**：すべての方向からの音を調整特性の通りに増幅します。

イマージョン指向性：耳かけ型補聴器の上位3クラスでは、アダプティブ、ダイナミック、無指向性の各モードにデフォルトでONになります（但し、ストリーミング、Stream Boost、電話、テレコイル、ループの各メモリーは除く）。指向性マイク搭載の耳あな型補聴器補聴器のデフォルトはOFFですがチェックボックスでONにできます。

注意：1200クラスでは、耳かけ型、耳あな型ともイマージョン指向性のデフォルトはOFFであり、無指向性の時のみチェックボックスでONにできます。

注意：1000クラスはイマージョン指向性に対応していません。

指向性プラス：すべての指向性モードでデフォルトはOFFです。指向性が自動に切り替わるモードでは、チェックボックスでONにできます。

スイッチング：指向性の切換え頻度を多くするか、少なくするかを変更する場合に、「遅く」・「速く」を選択します。デフォルトは「標準」です。



（図4）指向性

イマージョン指向性：耳介の音響特性を再現するために、自然な高周波指向性を無指向性状態にある補聴器に付加します。

注意：指向性マイクロホンを搭載した全ての補聴器にて適用されます。

指向性プラス：強力なボイス強調とノイズ低減を組み合わせ、非常に騒がしい環境でも快適な聞こえを実現します。

スイッチング：全てのメモリーに適用されます。スイッチングはテクノロジークラス2400のみに適用されます。

空間ヒアリング

空間ヒアリングはMuse iQのCICやIIC、オトレンズシナジーiQ補聴器に搭載された機能であり、軽度から中等度の高音難聴のユーザーの聴き取り、音質、および空間認識を向上します。

オーディオグラムが軽度から中等度の難聴を示した際にはデフォルトで適用されます。空間ヒアリングでは、e-STAT AIがデフォルトの処方式です。

空間ヒアリングはメモリー毎にON/OFFを選択できます（図5）。デフォルトでOFFとされたユーザーに対して手動でONにするには；

1. 画面上部のメニューから「**e-STAT AI**」処方式を選択します（図6）。
2. 環境管理画面の調整テーブルで**上下の矢印**にてON/OFFを切り替えます。

注意：空間ヒアリングは音楽、電話、テレコイル、ループのメモリーには適用されません。

注意：空間ヒアリングは上位3クラスのみ対応しています。

		1	2	3	4
環境管理		*標準	流暢	星外	電話
詳細 快速機能	ボイス強調	3	3	3	3
	静寂	3	3	3	3
	風	3	3	4	3
	機械騒音	3	3	3	3
詳細 BGM強調	強さ	3	Off	Off	Off
空間ヒアリング		On	On	On	N/A

（図5）環境管理：空間ヒアリング



（図6）eSTAT AI 処方式